エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：平成29年12月～平成30年11月

●発行日：令和元年5月10日

株式会社
和高組
WAKOUGUMI CO., LTD.

目次

	目　次	1
1	組織の概要	2
2	実施体制	4
3	環境方針	5
4	環境目標	6
5	環境目標の実積と評価	7
6	環境活動計画と実施状況	9
7	環境関連法規等の遵守状況	10
8	代表者による全体の評価と見直しの結果	11
9	環境への取組状況	13

1　組織の概要

①事業者名、代表者名など

事業者名	株式会社　　和髙組（わこうぐみ）
代表者氏名	代表取締役　髙橋　貴洋
設立	平成23年12月2日
資本金	300,000円

②所在地

①本社	〒870-0126 大分市大字横尾884番地1
②資材置場	〒870-0126 大分市大字横尾1998番地1
③第1駐車場	〒870-0126 大分市大字横尾2003番地1
④第2駐車場	〒870-0126 大分市大字横尾2027番地1
臼杵支店	〒875-0235 臼杵市野津町大字藤小野962番地1

※臼杵支店は登記上の拠点（役員自宅）である。

③事業内容

とび・土工工事業・解体工事業
・足場設置
・造船工事

※造船工事は、下請け工事を請負い、作業のみを実施している。

④許可

≪建設業許可≫

許可番号　大分県知事許可（般-25）第13629号

※平成31年3月31日更新済み

≪産業廃棄物収集運搬業許可≫

許可番号　大分県知事許可第04402182566号

※自社工事関係分のみ収集運搬

⑤事業規模

活動規模	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
工事件数	件	312	520	489
売上高	百万円	221	248	226
従業員数	人	37	37	30

⑥対象範囲

全組織、全活動

⑦環境管理責任者名

管理部　部長補佐　日下　弘章

＜連絡先＞
電話　097-529-7122
FAX　097-529-7188
メール　info@wakougumi.com

2　実施体制

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する最高責任者 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境方針の策定、全従業員への周知 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・活動計画書・活動レポートの確認 ・環境活動の取組の取組結果を代表者へ報告
事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境活動レポートの作成
エコアクション21推進委員会	・環境目標、環境活動計画の伝達 ・全社の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
部門長	・環境活動及び環境活動計画の企画・作成・実施 ・環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・必要な手順書などの作成、管理 ・問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

3　環境方針

★基本理念

我が株式会社　和髙組は地球環境改善を重要な課題と位置付け、工事部における建設事業、解体工事事業部、船舶造船事業部における各種燃料の節約行動や産業廃棄物の処理の仕方や発生する資源のリサイクル、エコ活動を通して環境への負荷低減に積極果敢に取り組み環境経営システムを構築・運用し、全社員が着実に環境保全活動また二酸化炭素軽減行動等を行い、次世代に継承できる環境の実現に切磋琢磨し日々邁進することとします。

★ 行動指針

1.具体的に次の事に取組みます。

① 電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。

② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進する。

③ 水資源を大切にするため節水に努める。

④ 環境に配慮した塗料の使用に努める。

⑤ 原材料及び事務用品のグリーン購入に努める。

⑥ 事業所周辺に清掃活動を推進する。

これらについて環境目標、環境計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3.この環境方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日：平成29年2月21日

株式会社　和髙組
髙橋　　貴洋

4　環境目標

各年度の対象期間は、12月～翌年11月

環境方針の番号	選択課題	単位	平成28年度（基準）	平成29年度目標	平成30年度目標	平成31年度目標
1	二酸化炭素排出量削減	Kg-CO2	62,198	61,576 △1%	60,954 △2%	60,332 △3%
	二酸化炭素排出量削減 売上高原単位	Kg－CO2/百万円	281.4	278.6	275.8	273.0

売上高原単位計算式
＝　基準値/該当年度売上高

例えば　平成28年度　　売上（百万円）　　221
62,198 / 221 = 281.4

1-1	電力消費量削減 基準年度比	kWh	14,387	14,243 △1%	14,099 △2%	13,955 △3%
1-2	ガソリン消費量削減 基準年度比	ℓ	6,330	6,268 △1%	5,832 △2%	5,773 △3%
1-3	軽油消費量削減 基準年度比	ℓ	15,206	15,054 △1%	13,911 △2%	13,770 △3%

環境方針の番号	選択課題	平成28年度（基準）	平成29年度目標	平成30年度目標	平成31年度目標
2-1	一般廃棄物排出量削減	－	分別を実施する		
2-2	産業廃棄物のリサイクル率維持向上	－	分別の徹底		
3	水使用量削減	－	節水活動の推進		
4	化学物質の適正管理	－	シンナーの適正管理		
5	グリーン購入の推進	品数	1種類増加		
6	社会貢献への参加	会社周辺の毎月1回の清掃活動、工事終了都度のごみ拾い活動			

5　環境目標の実績と評価

環境方針番号	選択課題	平成28年 実績(A)	平成30年 目標△2%	平成30年 実績(B)	二酸化炭素の排出量	目標達成率
1	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	62,198	60,954	102,815	102,815	59.3%
	二酸化炭素排出量排出量 売上高原単位	281.4	275.8	454.9	－	60.6%

環境方針番号	選択課題	平成28年 実績	平成30年 目標△2%	平成30年 実績	二酸化炭素の排出量	目標 達成率
1-1	電気使用量	14,387	14,243	12,398	6,546	116.0%

二酸化炭素排出量kg-CO2 計算式＝(電気　kWh)×　0.528(九州電力H27年度調整後排出係数)

環境方針番号	選択課題	平成28年 実績	平成30年 目標△2%	平成30年 実績	二酸化炭素の排出	目標 達成率
1-2	ガソリン使用量	6,330	6,268	10,078	23,398	65.6%

二酸化炭素排出量kg-CO2 計算式＝(ガソリン L)×0.0671(排出係数)×34.6(単位発熱量)

環境方針番号	選択課題	平成28年 実績	平成30年 目標△2%	平成30年 実績	二酸化炭素の排出	目標 達成率
1-3	軽油使用量	15,206	15,054	27,767	72,871	74.7%

二酸化炭素排出量kg-CO2 計算式＝(軽油 L)×0.0687(排出係数)×38.2(単位発熱量)

【評価と次年度の取組内容】

今年度から解体工事に本格的に参入を始めました。解体工事には重機の使用が欠かせないので、重機の燃料である『軽油』の使用量が大幅にふえました。

足場工事も大分市外や県外などの遠距離地が多く『ガソリン』の使用量がふえました。『ガソリン』『軽油』ともに当初の目標数値を大幅に増加してしまいました。

次年度は、重機の作業効率化を推し進めるとともにエコドライブの取組の強化を図ります。

具体的には、

①運転日誌に月に1回の空気圧チェック日の記録をつける
②全車に　オイル交換とエレメントの目安となる「お知らせカード」の設置
③全車に「エコドライブの10のすすめ」の設置
④重機のアイドリングストップ
⑤解体工程効率的段取り

電気使用量については、順調に推移し目標達成はしていますが、今後ともに節電に取り組みたいと思っています。

環境方針番号	選択課題		平成28年実績	平成30年目標△2%	平成30年実績	平成31年目標△3%	目標達成率
2−1	廃棄物排出量		―	分別を実施する	実施した	分別を実施する	100%
		【評価と次年度の取組内容】 ・分別ボックス及び分別の表示を設置した 2019年2月に155.4kg（24袋）排出（2018年10月～2019年2月分） ・全量次年度の評価に繰越すこととなる ・今後はレポートの対象期間に合わせた数量把握を行う					
2−2	産業廃棄物のリサイクル率維持・向上		―		99.5%		
		【評価と次年度の取組内容】 99%以上を維持する。繊維くずのリサイクル化を検討する					
3	水使用量		―	節水を実施する	節水シールを貼った	節水を実施する	100%
		【評価と次年度の取組内容】 節水シールを貼り、皆の節水意識が向上した。次年度も継続して節水意識を向上していく					
4	化学物質の適正管理		―	注意事項を掲示する	注意事項を掲示した	保管場所、保管状況を月1回チェックする	100%
		【評価と次年度の取組内容】 シンナー類の保管場所を決め、SDSを使用して注意事項を掲示した 次年度は保管場所、保管状況をチェックしていく シンナーの使用はなかった（足場材、形式が変化した）					
5	グリーン購入の推進	通年	0品	現状把握	最優先購入	1品追加	100%
		【評価と次年度の取組内容】 環境目標を達成した。社員の間でグリーン購入の意味を理解し、意識の向上も図れた。そのうえで当社のグリーン購入品、コピー用紙とチューブファイルの購入を把握した。次年度も継続して年度末まで把握を継続する。					
6	社会貢献への参加		―	会社周辺の清掃活動 工事現場周辺のごみ拾い	月1回実施した 工事終了都度清掃を行った	会社周辺の清掃活動 工事現場周辺のごみ拾い	100%
		【評価と次年度の取組内容】 環境目標を達成した。次年度も清掃活動を継続していく。					

6　環境活動計画と実施状況

○	△	×
１００％	80％～100％	80％以下
よく出来た	もう少し	出来なかった

番号		目標課題	具体的な行動（活動）	実施状況	担当者
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力使用量削減	1. 冷暖房設定温度の厳守。夏26℃冬22℃を基本とする。	○	鍛野
			2. OA機器の退社時電源OFFする。	○	
			3. 空調機フィルターの清掃する。（3ヶ月に1回）	○	
			4. 不必要箇所の照明を消す。	○	
	1-2	ガソリン使用量削減	1. エコドライブの推進。	○	日下
			①急加速急停車をしない	○	
			②タイヤの空気圧チェック（1ヶ月に1回）	○	
			③アイドリングストップする。	○	
			④エアコンの使用頻度を控える。	△	
	1-3	軽油使用量削減	1. エコドライブの推進。	○	赤嶺
			①急加速急停車をしない	○	
			②タイヤの空気圧チェック（1ヶ月に1回）	○	
			③アイドリングストップする。	○	
			④エアコンの使用頻度を控える。	△	
2-1		一般廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別を徹底する。	○	日下
			2. リサイクル可能ゴミの確認とその周知を徹底する。	○	
			3. コピー用紙の裏側使用を推進する。	○	
2-2		産業廃棄物のリサイクル率維持向上	1. 廃棄物分別を徹底する。	○	赤嶺
			2. リサイクル化へのルート選択	○	
3		水使用量削減	1. 節水シールを貼り意識を喚起する。	○	河野
			2. 蛇口の閉め忘れの確認。（家庭などの使用場所）	○	
			3. 無駄な水の使用を控える。（家庭などの使用場所）	○	
4		化学物質の適正管理	1. シンナー類の保管場所を決める。（注意事項の掲示）	○	赤嶺
			2. 吸込み中毒などに気を付けて使用する。	○	
5		グリーン購入の推進	1. エコマーク、グリーンマーク商品の購入推進	○	鍛野
			2. 再生紙の購入推進	○	
6		社会貢献への参加	1. 工事現場1回以上のゴミ拾い活動（工事終了都度）	○	日下
			2. 事務所周辺の清掃活動（月1回）	○	

7　環境関連法規等の遵守状況

関連法規法令違反はありませんでした。また、指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。

関係法令	チェック項目		チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
廃棄物処理法（一般廃棄物）						
		分別場所（箱等）の設置	現場確認	日下	H30.12.29	○
		分別の徹底	現場確認	日下	H30.12.29	○
		一般廃棄物処理業者委託	契約書の内容確認	日下	H30.12.29	○
廃棄物処理法（産業廃棄物）						
	第12条の5	産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト伝票確認	日下	H30.12.29	○
	第12条の3	廃棄物委託契約書	契約書の内容確認	日下	H30.12.29	○
	第12条第9項	保管場所表示、保管基準遵守	現場確認	日下	H30.12.29	○
建設リサイクル法						
	第13条	発注者へ事前に届出				
	第5条	廃棄物の抑制及び再生資源の使用	解体届等の提出	日下	H30.12.29	○
	第16条	再資源化等の促進	現場確認	日下	H30.12.29	○
道路交通法						
	第77条	道路使用許可		日下	H30.12.29	○
騒音規制法規						
		特定建設作業の届出	解体届等の提出	－	該当なし	－
		防音パネル・防音シートの設置等の騒音防止策の実施	現場確認	－	該当なし	－
振動規制法						
		特定建設作業の届出	解体届等の提出	－	該当なし	－
		振動対策の実施	現場確認	－	該当なし	－
フロン排出抑制法						
		簡易点検、定期点検の実施及び記録	3ヶ月に一回実施	日下	H29.12.30	○
家電リサイクル法						
		リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	日下	H30.12.29	○
		家電廃棄時の適正処置	家電回収の適正業者の確認	－	該当なし	－
（PC）リサイクル法						
		パソコン廃棄時の適正処置	パソコン回収の適正業者の確認	－	該当なし	－
自動車リサイクル法						
		自動車リサイクル料支払い	リサイクル券の確認	－	該当なし	－
		自動車廃棄時の適正処置	自動車回収の適正業者の確認	－	該当なし	－

（注記）現状は該当はしないが、今後、対象になり得る法規類は上記で特定しておく。

8　代表者による全体の評価と見直し

会社名	株式会社　和髙組（わこうぐみ）
実施日	平成30年12月29日（土）

No.	項目	環境管理責任者のコメント
1	環境関連法規等の遵守状況確認結果	遵守できている
2	環境目標の達成状況	原因が仕事の増加なので、経過を見ていく
3	環境活動計画の実施状況	今後とも、実施を継続していくこと
4	問題点の是正、予防の状況	今回は、原因が明確なので是正処置までは不要である
5	外部からの苦情の有無及び対応結果	今後とも、意識をしていくこと
6	環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	何かあれば手順に従い、適切に対応すること
7	その他	問題なし

今年度の環境経営目標に対する達成状況の結果は、未達成という結果でした。目標未達成の結果となったCo2排出量につきましては、『ガソリン』と『軽油』で事業拡大に伴い、大幅に増えましたが、電気量は削減をすることができました。

IT化に伴い、情報の共有化をすすめて、パソコンの増設し、日々のコピー用紙の使用削減に努めました。社内ＳＮＳとして『LINE』を多様化し、現場管理等に活用してきました。
電子マニフェストの導入にも積極的に努め、当社が排出事業者時に１００％近く電子マニフェストで対応できるようになりました。今後はより一層のIT化と取組が不十分であったエコドライブに頑張っていきたいと思っています。

また、新しい取組みとして、５S運動　を行いたいと思います。

No.	項目	代表者の指示
①	環境方針	継続
②	環境目標	継続
③	環境活動計画	継続
④	環境経営システム	継続
その他の指示		ガソリンや軽油の増加は、事業拡大の関係もありますが、 エコドライブの活動が芳しくなかったと思います。 次年度では、エコドライブの活動の継続や5S運動など新しい取組みを計画していると聞いていますので、今年以上にがんばってほしいと思っています。

５S運動　　とは

毎月　５・１５・２５日を整理整頓の日とし、

・身の回りの整理・整頓と社用車室内の清掃
・整理、整頓、清掃、清潔、躾の励行

LINEの全体連絡網でお昼休みに呼びかけを行い、行動を促すようにする

9　環境への取組状況

・月報・人員管理表の電子化

コピー用紙の利用を減らすために、全従業員の月報及び人員管理表の管理をデータで管理するようにしました。
1階・・3台、2階・・7台を配置し、Dropboxで情報と共有化しました。

プリントアウトは、2階でのみで行い無駄なプリントアウトをさせないようにしました。

毎日現場毎に、人員管理表を手書きをしていた。
1日8現場　×　25日　＝　200枚

これがすべて削減できました

月報は個人ごとに毎日入力をすることで、パソコン操作の習得につながった

・情報共有化

現場写真や位置などを全従業員で共有化できるルーツとしてLINEを利用。現場終了時には、報告を義務づけ作業の能率アップに役立てている。

全体の99％程がLINEを利用しているので、操作にも精通しているので、取り組みやすかった

・ごみの分別

より細かく分別できるように
BOXを配置した。

**弁当の食べ残しなどは、
お持ち帰りをするように
徹底をしました。**

・ガソリンの削減

エコドライブを心がけるように周知徹底をしているが、思うような結果が得られず来年度のメインの活動としたい。

毎月の走行距離やオイル交換の点検時期のチャックの徹底